

技術報告①

コンサルタンツ部門

令和4年度農林水産省との意見交換会（第2回） 「調査・測量・設計業務の品質確保等に関する提案 （前期分）」について

コンサルタンツ部門では、入札・契約から業務実施、完了に至る一連のプロセスにおける課題を会員へのアンケート調査を通じて洗いだし、コンサルタンツ部門幹事会における検討を加えたうえで、提案要望事項を取りまとめ、農林水産省農村振興局施工企画調整室と年2回意見交換会を開催している。

本稿は令和5年3月28日（火）に開催した意見交換会の概要について報告するものである。

なお、今回の提案は同調査のうち、令和4年12月末をもって集めた意見項目を年度前期分としてとりまとめたものである。

日時：2023（令和5）年3月28日（火）

15：30～17：30

場所：農業土木会館2階B会議室

出席者：

（農村振興局整備部設計課施工企画調整室）

土屋 恒久 室長

上條 剛 課長補佐（積算基準班）

西島 太志 積算企画係長

（コンサルタンツ部門幹事会）

松浦 正一 幹事長 NTC コンサルタンツ(株)

大久保拓也 幹事 サンスイコンサルタンツ(株)

堀田 昇克 幹事 (株)三祐コンサルタンツ

青木 淳仁 幹事 (株)ジルコ

上野 裕士 幹事 内外エンジニアリング(株)

藤田 茂 幹事 (株)日本水工コンサルタンツ

伊藤 雄一 幹事 若鈴コンサルタンツ(株)

河津 宏志 アドバイザー (株)ジルコ

（農業土木事業協会）

山田 耕士 事務局長

野村 栄作 企画部長



1 あいさつ

(1) 松浦幹事長

施工企画調整室土屋室長はじめご担当の皆様には、年度末の大変ご多用の中、意見交換会にご出席いただき感謝申し上げます。



松浦幹事長

本日は2022（令和4）年度農業農村整備事業の業務実施に関するアンケート調査の前期分を取りまとめ、その結果を踏まえ、14項目の要望を説明させていただく。

忌憚のない意見交換をお願いします。

(2) 農林水産省：土屋室長

本日は業務の実施状況を知る良い機会と考えており、お招きいただき感謝している。

また、昨年9月より明治用水地区の対応もしていたが、事業協会の会員各社には大変ご協力を賜った。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

2 質疑状況

(1) 業務内容に応じた入札契約方式の適用について

（要望）

業務内容に応じて適切な入札契約方式を選定できるよう、特に提案力を求められる業務では、プロポーザル方式や総合評価落札方式であっても1：2方式を採用するように指導をお願いします。

【協会：大久保幹事】

- 約半数の企業が課題としている。
- 「総合評価落札方式で発注されたものの、プロポーザル方式が適当と考えられる業務が見られた。」、また「総合評価落札方式のうち1：1方式で発注されたものの1：2方式が適当なものが見られる。」といった意見が多く見られた。

（回答）

【農林水産省：土屋室長】

- 適切な入札契約方式を選定するよう、農政局及び事業所に求めていきたい。
- 基本的には、現場技術業務は1：1方式と考えているが、それ以外は1：2方式が妥当と考えている。



（左）上條補佐 （右）土屋室長

(2) 参加表明書・技術提案書等の簡素化について

（要望）

参加表明書等の提出書類の簡素化を求める声が多く挙がっており、中でも年間を変化しない項目について、手続き上の簡素化要望が挙がっているので検討をお願いします。

【協会：大久保幹事】

- AGRIS登録されているにもかかわらず、業務実績・成績を証明する資料を求められたと回答した企業が全体の2割程度あった。
- これまでは、総括表の廃止を求める意見が多かったが、今回は、年間を通じて変化しないような項目については、年度当初に各局に提出すれば良い形にしてほしいとの意見が多く出されている。
- また、提出内容の統一なども要望として挙がっている。



大久保幹事

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 働き方改革の状況も踏まえ、提出書類についてはできる限り簡素化に向けて改善していきたい。

(3) 低入札調査基準価格の引上げについて

(要望)

現行の低入札調査基準価格につて、品質確保、技術者の育成確保、適切な利潤の確保の観点から、85%程度まで引き上げるようお願いする。

【協会：大久保幹事】

- 人材確保の観点から賃上げが課題となる中、約6割の企業が低入札調査基準価格の引上げを求めている。
- また、引上げを求める企業の9割が、85%程度まで引き上げるよう求めている。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 国土交通省との調整が必要なことがらであり、要望について国土交通省と共有を図っていきたい。

(質疑)

【協会：松浦幹事長】

- 国土交通省発注業務における落札率が、85~90%となっていることも考えられ、またその背景として相対評価が徹底されていることも考えられるので、今後、国土交通省との協議の中で、国土交通省における落札率の状況及び業界団体からの要望について、聞き取ってほしい。

【農林水産省：土屋室長】

- 国土交通省との情報共有に際しては、この点も含めて話をする。

(4) 総合評価落札方式における履行性ヒアリングの統一について

(要望)

履行性ヒアリングについて、様式や記入方法が事業所毎に異なっているので、統一をお願いする

【協会】

- ファクスや電話など様々な方法が見られるが、迅速性を確保するのであれば、電子入札システムに送信する方法もあるのではないかと。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 履行確認ヒアリングの実施方法について、事業所毎に異なっているかどうか、まず各農政局へのヒアリングを通じて把握したい。
- その上で、事業所により異なっているようであれば、統一の方向で検討したい。

(質疑)

【協会：松浦幹事長】

- 幹事企業の中でも、電話やファクスによるヒアリングを受けた実態がある。できれば電子的に行うことで統一してほしい。

【農林水産省：土屋室長】

- 改善に向けて取り組んでいく。

(5) 総合評価落札方式における技術提案の評価結果の公開について

(要望)

総合評価落札方式においても、プロポーザル方式と同様に技術提案書の項目別評価結果を公開するようお願いする。

【協会：松浦幹事長】

- 当方の願いは、自社分だけでも評価項

目ごとに点数をお知らせいただきたいというもの。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 公開による影響面も考慮する必要があり、公開方法案の検討に当たっては、皆様のご意見を伺っていききたい。

(質疑)

【協会：松浦幹事長】

- 特定テーマの評価に関する内訳だけでも教えていただきたいのだが。

【農林水産省：土屋室長】

- 引き続き調査を進める。

(6) 総合評価落札方式の公示から提案書提出の期間について

(要望)

公示から提案書提出までの期間を少なくとも20日間は確保し、提案書の作成に十分な時間を当てることができるようお願いする。また質問受付の期間も余裕を持った形で確保いただくようお願いする。

【協会：大久保幹事】

- 提案書作成のための期間を十分にとっていただきたいという意見とともに、質問期間が3日間しかなかったとの意見も挙がっており、質問期間を十分にとる必要があるのではないかと。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 必要な提出期間の確保については、これまでも指導を行ってきたが、未だ不備がある場合には個別に対応する。

(7) 総合評価落札方式における技術点の評価について

(要望)

提案書における業務への取組方針に関する評価について、相対評価を徹底するようお願いする。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 相対評価の実施については、再度周知する。

(8) 技術提案書貸与資料の貸与方法について

(要望)

事務の効率化の観点から、貸与資料は電子データでの提供を標準とするようお願いする。また、オンラインでのデータの受渡しについて検討をお願いする。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 電子媒体で提供するという流れは変わらないと考えている。

(9) 入札の経過情報等に関する公表時期、内容等の課題について

(要望)

入札の経過情報について、公表が遅い事業所がある。経過情報は早期に公開するよう指導をお願いする。

【協会：大久保幹事】

- 公表時期に関し、約半数の企業が早期公表を求めている。入札後、2週間以内の公表をお願いする。
- 公表内容に関しては、プロポーザル方式では指名業者の一覧の公表をお願いする。
- また、総合評価落札方式では、技術点の項目ごとの採点結果の公表を求める意見が多く挙がっている。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 入札の経過情報については、速やかに公表するよう引き続き指導する。

(10) 機能診断業務の調査及び設計業務に係る歩掛について

(要望)

業務により現地条件も異なるため、適宜見積徴収を行うよう指導をお願いします。また、機能診断結果の整理、取りまとめに必要な歩掛の設定をお願いします。

【協会：大久保幹事】

- 約半数の企業が課題ありとしている。
- 作業実態に合わない歩掛の適用や、現地条件に合わない仮設等の課題が挙がっており、適宜見積徴収の活用をお願いします。
- また、「調査結果の整理」、「とりまとめ作業」の歩掛が見込まれていないとの意見が挙がっており、必要な歩掛の設定をお願いします。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 機能診断業務に関する積算参考歩掛を制定する予定であり、これにより改善に向かうものと考えている。

(11) 既存データを含む地質・土質調査業務に係る補正について

(要望)

既存のボーリングデータを含んだ解析を行う場合は、作業内容が複雑になるため、適正に補正を行った上で歩掛の設定をお願いします。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 適宜見積も活用するよう周知していく。

(12) 設計業務の打合せの配置人員、適用条件について、旅費交通費について

(要望)

業務の大規模化、複雑化、多工種化により打合せに出席する人数も増えているので、業務内容に適合した打合せ人数の設定を行うようお願いする。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 実態に即した積算となるよう指導していく。

(13) 業務成績評定の AGRIS への早期登録について

(要望)

業務成績の AGRIS への登録が遅く、案件への参加時に個別の問合せを行うケースがある。AGRIS への業務成績の登録は早期に行うよう指導をお願いします。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- 速やかに登録するよう、再度周知する。

(14) 業務成績評定の公開について

(要望)

品質確保のため、農政局毎の平均点の公開をお願いします。

【協会：藤田幹事】

- 各農政局における評価の傾向は承知しておきたい。

(回答)

【農林水産省：土屋室長】

- まず、状況を把握したうえで、引き続きご意見を伺う。